

論文審査の要旨
(Summary of Dissertation Evaluation)

博士の専攻分野の名称 (Major Field of Ph.D.)	博士 (文学) Ph.D.	氏名 (Candidate Name)	高 偉高
学位授与の要件	学位規則第4条第1項該当		
論文題目 (Title of Dissertation) 山田方谷の思想の研究 — 儒学思想の受容と止揚を中心に —			
論文審査担当者 (The Dissertation Committee)			
主 査 (Name of the Committee Chair)	教授	中山 富廣	
審査委員 (Name of the Committee Member)	教授	本多 博之	
審査委員 (Name of the Committee Member)	教授	有馬 卓也	
審査委員 (Name of the Committee Member)	准教授	奈良 勝司	
〔論文審査の要旨〕 (Summary of the Dissertation Evaluation)			
<p>本論文は、中国の儒学思想とくに明末清初の「経世致用」思想に注目して、山田方谷（1805～77）の思想および思想史的意義を論じたものである。方谷は儒学の大衆化が進んだ幕末維新期において特異な「養気学」を唱え、備中松山藩の財政を立て直した陽明学者として、日本のみならず中国でも注目されている。論文の構成は、研究の背景と研究史の問題点を整理した序論と、各章の論旨を要約した結論、および第一部（第一章～第四章）と第二部（第五章・第六章）から成る。</p> <p>第一章「方谷の略歴と青年期の思想」では、正学朱子学から出発した方谷が、人間の内面性を無視する朱子学の脆弱性に気付き、それによって生じた心の「不安」を解消するため仏教（禅）に関心を寄せた。しかし仏教は実践的学問を重視する方谷の考え方とは相容れず、その後、大塩平八郎の『洗心洞箚記』と陽明の『伝習録』と出会い、陽明学に転向したことを明らかにした。</p> <p>第二章「方谷の『誠意本位』思想」では、方谷が陽明の著『古本大学』を再解釈し、左派王学の「現世良知」を批判して「誠意・慎独」を陽明学の主旨とする劉宗周（1578～1645）の説を受けて陽明学の主旨が「誠意」にあるとした。さらにその「誠意」を実現することによって、当時の幕府や諸藩の財政困窮を解決できるという「誠意本位」思想を提示したとする。</p> <p>第三章「山田方谷の養気学の成立」では、方谷は劉宗周の気論を継承しながら、気本論と「気が理を生じる」説を提出したとする。宗周の気論は彼の「誠意・慎独」の理論的な基礎にすぎない。それは理を中心にした正学朱子学に対し、気を学説の中心にしようとする方谷の目的と食い違っていた。その矛盾を克服し、自分の学説の正当性を立証するため、方谷は気学という視点から陽明の「万物一体の仁」と「無善無悪」論に注目し、気にそれらに関連させて仁を内容とする「気一体」論と「一气自然」論を唱えた。これらによって養気学の主要部分が成立したと指摘する。</p> <p>第四章「山田方谷の養気学と明末清初の『経世致用』の思想」では、方谷は『孟子』の「養気章」の再解釈という形で、『孟子養気章或問図解』を著し、自分の心の「直養」を通じて国を治めるという「直養治国」論を構築したと指摘する。また人間の内面的価値と政治的価値の一体化を強調する幕末の日本儒学の特徴が、明末清初の「経世致用」思想の影響を受けていたとする。つまり方谷の「直養治国」論ないし養気学は、「経世致用」思想と幕末儒学の延長線上に置くべきであるとした。</p> <p>第五章「山田方谷の財政改革の思想」では、方谷の経済思想が孟子の仁政と富民思想に基づいていること、具体的には「武士俸約」論、「上下共富」論、商業藩営論、紙幣論からなる財政改革</p>			

の思想原理を構築したと指摘した。

第六章「藩政改革における山田方谷の政治思想」では、方谷が徂徠学の経世派、明末清初の「経世致用」の思想の影響を受けており、その思想内容は国家盛衰治乱論、武士職分論、誠意理財論と誠意選賢論、下民撫育論で成り立っていることを明らかにした。

本論文は、漢文史料の訓読や幕末維新期の政治・思想史理解に若干問題もあるが、『山田方谷全集』を丹念に読み込み、また孟子、王陽明、明末清初の中国陽明学の理解をもとにして、山田方谷の全思想体系の解明に取り組んだことは特筆すべきである。

以上、審査の結果、本論文の著者は博士（文学）の学位を受ける十分な資格があるものと認める。

備考 要旨は、1,500字以内とする。

(Note: The summary of the Dissertation should not exceed 500 words.)